

ま ばゆ せん てん 目映い光の回転

【第6回 福智町 金田・神崎秋祭りイベント(山笠競演会)フォトレポート】

祭 りの夜を華麗に彩る電飾の山笠。揺るぎなく観客の熱気も最高潮に達します。今回で6回目を数える夜の競演会「福智町金田・神崎秋祭りイベント」は、昼とは違った趣で祭りを存分に楽しめる盛大な催し。今年は屋内競技場横の「ふれあいイベントパーク」に会場を移し、金田稲荷神社で運行した6基の山笠に、神崎二山笠愛好会を加えた計7基で行われました。隔年で開かれる飯土井神社神幸祭が今回はないため、昨年より3基少ない参加でしたが、見応え十分の迫力ある競演が繰り広げられました。

2基の山笠が、会場に設けられた「北」と「南」の各20m四方のスペースに対峙し、上下にゆらす「がぶり」や豪快に回転させる「練り回し」を披露。まばゆいほどの光の渦が夕闇につくり出されました。光りを放ってそびえる山笠を見上げた観客は、2日間延べ約1万人。打ち鳴らされる鑼子の音が響くなか、腰の底から声を張り上げて山笠を操る揺き手たちは、会場に詰めかけた観客から大きな歓声と拍手を浴びました。

観客の視線を集めながら、高速で回転する山笠。北と南のスペースで、2基の山笠による光と練り回しの競演が展開されました。



神崎二 山笠愛好会



平原山笠



六区山笠



宝見区山笠



町部山笠



上金田山笠



一区山笠

ふれあいイベントパークに集まった7基。クレーンで継ぎ足され、いっそう迫力を増した山笠が、光を放ちながら、誇らしげに並びました。

特色を前面に押し出したそれぞれの山笠は、そろいの法被に身を包んだ揺き手に操られ、意志あるものように躍動します。熱を帯びた揺き手と山笠が、福智の秋の夜長をきらびやかに彩りました。

